

大阪大学運営方針会議（令和7年度 第3回）議事要旨

日 時 令和7年9月24日（水）13時30分～14時50分

場 所 オンライン会議

出席者 井野瀬委員（議長）

熊ノ郷総長

ビール、大石、津賀、永井、安浦、藤尾、田中 各委員

（陪席者）尾上、尾崎、井上 各理事

議事に先立ち、井野瀬議長から、前回（令和7年6月20日開催）の議事要旨について、内容を確定した旨報告があった。

議 事

1 国際卓越研究大学の認定等に関する審査状況について

熊ノ郷総長から、配付資料に基づき報告があった。

本議題に係る学外委員からの主な意見は次のとおり。

- 現地視察に際しての事前質問について、回答した16項目が現地視察でも重要となるので、確実な対応が望まれる。
- 同じ関西地区で申請している他の総合大学との関係において、当該大学との協力や連携についても説明していくことが重要ではないか。
- 「社会構造変革の循環」において、人文社会科学系の分野がどのような役割やリーダーシップを担うか等について、もう少し強調する必要があるのではないか。

2 令和6年度決算の分析について

熊ノ郷総長及び尾崎理事から、配付資料に基づき報告があった。

本議題に係る学外委員からの主な意見は次のとおり。

- 他大学との比較において、大学の活動を改善していくという観点から、項目によって率で比較するものと額で比較するものとの使い分けが必要ではないか。「率の比較」には限界があるように思われる。また、予算の獲得の有無が大きな変動要素になっているため、予算が獲得できた場合、それがどのように経営のプラスになるか等についても記載いただきたい。
- 病院経営の指標に関して、診療棟新営に伴う診療経費増加の影響を受けているが、実際の診療効率等の状況がわかりにくいいため、減価償却とは異なる別の視点でも確認できる指標の設定が必要ではないか。また、昨今の物価上昇や働き方改革によって影響を受けるものと、そうでないものを分けて確認できるようになると、改善の余地の有無等がより明確になるのではないか。
- 日本の医療は非常に厳しい状況にあり、高度医療から通常の医療までを単独でやっていくことは難しいため、地域の他の病院とのネットワークをどう生かすかが重要ではない

か。

- 大学は長期的な見通しをもって物事を考える必要があることから、人件費や一般管理費の比率に関しては、大学のミッションとのバランスも考える必要があるのではないかと。

- 3 資金運用室の設置にかかるプレスリリース予定について
熊ノ郷総長及び尾崎理事から、配付資料に基づき報告があった。

(以 上)